

事務事業名		三刀屋文化体育館管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総合計画的体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	社会教育G	課長名	奥井 雅司
	施策名	(30)生涯スポーツの振興		担当者名	原田 憲一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2243
	目的対象	対 象	市民	意 図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。		
	基本事業名	(088)スポーツ環境の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 3 0 1 0 1 8	体育施設管理事業 三刀屋文化体育館管理事業	
目的対象	対 象	市民	意 図	スポーツ活動に親しむ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
・(株)キラキラ雲南による指定管理施設。年度協定に基づく指定管理委託料の支払い。 ・施設管理業務に関わる指定管理者との協議。 ・修繕が必要となった場合の予算措置、契約など。 ・管理対象施設 三刀屋文化体育館アスパル	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ①指定管理料算定事務②年度協定締結業務③指定管理料支払い④協議⑤修繕対応		R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ①指定管理料算定事務②年度協定締結業務③指定管理料支払い④協議⑤修繕対応			
② 活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	協議など	件	10	10	16	16
イ	修繕	件	5	3	13	5
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	市民		ア	人口	人	37,794	37,012	36,248	37,004
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
施設を利用することにより、体力の向上、健康増進等が図られ、交流を通して人づくり・地域づくりに繋げる。		ア	施設利用者数	人	58,201	58,840	54,605	54,605	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
指定管理委託料	22,371千円	事業費	国庫支出金	千円				
賃借料	60千円		県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	26,686	24,784	22,431	22,576
			事業費計(A)	千円	26,686	24,784	22,431	22,576
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	200	150	150	
			人件費計(B)	千円	815	650	636	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	27,501	25,434	23,067	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
指定管理者制度を導入しており、指定管理者による様々な施設活用(総合型スポーツクラブや自主企画事業等)が図られ、競技・生涯スポーツ活動、文化活動の振興に繋がっている。	施設の管理のみではなく、施設を利用した事業が行われ、施設の有効活用が図られている。	施設の老朽化に伴い修繕箇所が目立ち、指定管理料では対応できないものもあることから、指定管理者から修繕要望が出されている。 ※給湯用ガス配管、木製連絡橋等 令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症の影響で団体および利用者で利用を自粛され、予定の利用がされない状況があった。

事務事業名	三刀屋文化体育館管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 すでに多くの企画事業や総合型スポーツクラブを展開し、利用者を維持している。施設の老朽化による修繕や備品整備の要望があり、対応することにより市民が安心して快適に利用でき、利用者数が増えることに結びつく。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 市の体育・スポーツの中心施設であり、廃止・休止した場合には市民の体力増進の場を失うこととなる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由 近隣に収容人員等、同規模の類似施設がないことから、他の事業との整理統合は困難である。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 指定管理者制度を導入し、必要な経費についても精査しているため、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 指定管理者制度を導入し、必要な人員についても精査しているため、これ以上の人件費の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 広く市民に開かれた施設であり、公平・公正に利用されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 直営管理をしていた施設を、指定管理者制度を導入したことにより事務量の大幅な軽減に繋がっている。また、指定管理者により適切な管理・運営が行われている。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
H30年度から3年間指定管理の契約を結んでいて、指定管理者による適切な管理が行われている。加えて多くの企画事業が行われ、施設の有効活用が図られている。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		